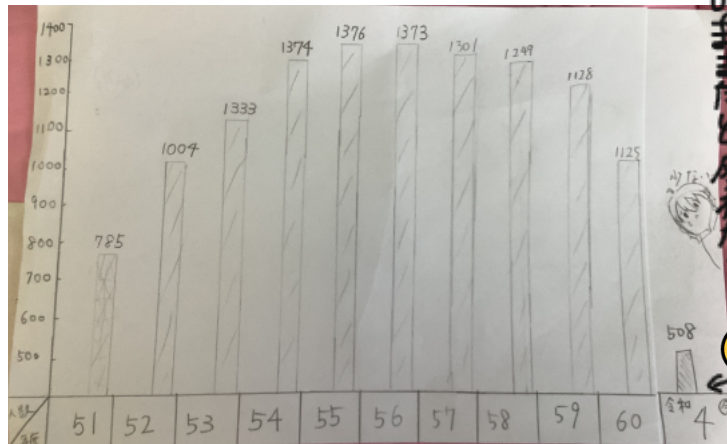


開校10周年の人数の変化

開校の時727名だった児童は、次の年には、早くも1000名をこえ、毎年増え続け、昭和55年には、はじめの約2倍の1376人にもなりました。また、入学する児童の数や卒業生の数も増え、53年には、新しくプレハブ校舎を造ったり、55年には、今までプレーホールとして使っていた広い教室を二つに区切って、教室を増やすなど施設面でも変わっていきました。

創立当時の校舎 ↓



卒業制作

卒業制作で彫刻をした方々は緊張しながらも一生懸命丁寧に彫って作ったそうです。また隣同士で堀の深さを合わせることや字を書くときも丁寧さを心掛けてつくられています。これらの卒業制作をつくった時は「これからこの学校の歴史がつけられるんだな」という思いで作ったそうです。



今年の卒業制作は、オルゴールを作りました。丁寧に木を彫ったり、色を塗ったのが楽しかったです。

